

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森 森のほし		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		～ 2026年 3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2026年 2月4日		～ 2026年 3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士・音楽療法士の専門的な資格を有する職員配置。 巡回指導を年に5回実施。	専門的な資格を有する職員と共に一緒に現場へ入り、お子さんの発達の相談や個々の課題について考え、一緒にプログラムを組み立てている。年に数回巡回指導を行い、療育のアドバイスをもらいながら現場へ生かしているところ。	職員一人ひとりが意識を持ちながら子どもと関り、研修等を受けて勤勉に努め、更に専門的知識を高めていく。常に職員同士の情報共有や意見交換をおこなっていく。
2	送迎サービスの実施。	送迎が難しい保護者に代わり、朝ご自宅や園まで事業所の所有する車にて送迎サービスを行っている。職員間でも乗車マニュアルを共有し、乗車点検や置き去り防止装置を設置し、細心の注意を払っている。	送迎時に園の職員と話す機会がある為、園での様子や事業所での姿を伝えて子どもの情報共有を密におこなっていく。定期的に乗車マニュアルを職員間で確認をし、事故防止に努めていく。
3	保護者や通っている園、市役所や病院等連携を取りながら子どもの療育に努めている。	保護者との連絡については、電子連絡アプリを通して通所時のお子さんの様子を文章と写真を添付し知らせている。保護者からの相談等もアプリから気軽に連絡を取り合うことが出来る。通われている園や病院など見学に伺い、集団での様子や療育中を訪問し、関係機関とも連携を取り合い個々に合わせた療育を心掛けている。	引き続き事業所だけではなく関係機関との連携を取り合いながら、個々に合わせた療育へと努めていく。保護者が相談しやすい窓口となるように丁寧に関りをもっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	収納が少なく、物の置きスペースが不十分。	様々なプログラムがある中で、使用する道具の収納場所が少ない為、片付ける場所が限られている。	常に整理整頓を意識し、過ごしやすい環境作りをしている。今後貸倉庫も検討中。
2	地域との交流の場や保護者同士の交流が少ない。	午前、午後と日頃の療育時間内でイベント開催が難しい。	今後、今年から保護者同士が話せる機会を設けてイベントを予定している。課外遊びや会社が所有する山やカフェでの活動を通して近隣の園や地域の方と交流を深めていきたい。
3	部屋の個室が限られている為、個別で静かに過ごせる確保の難しさ。	個室の部屋が一室で放課後サービスと併用の為、使用したいタイミング被ってしまったら使用が難しい。	個室の使用が難しい場合は、パーティションにて個室を設置する等対応をしていく。使用する際は放課後等サービスとも事前に話し合いをしておく。